

immediately と at once

もっともっと面白いラグビーを楽しむのにネックになっている問題を解明しましょう。そのためにこの度のルール改正が行なわれたのですから、主旨を消化吸収してプレーに生かさなければなりません。そのためにキーファクターとなるのが immediately という用語の理解と実践です。ルールの中の immediately と at once はどちらも「直ちに」と訳されていますが、内容は全く同一のことを指しているのではなく、明確に区別されなくてはならない問題です。

immediately は immediate :without intervening medium, direct, not separate by others という意味の語に ly ついた語です。間に何も挟まれる物・手段なく、直接、他のものに分割されないといった意味です。他のこと（動作）をしてはいけないのです。選択肢は一つ、勝つためとか損をしないようにという意図による行為はしてはいけないのです。at once は once（一度）の前に at がついて、時間的に直ちに、同時にといった意味を表し、時間的にごく短い時間にということです。

ラグビーを simpler & easier にしより楽しいものを目指して行われた今回のルール改正にあたって、展開継続を命題とするプレーを複雑困難にする基を解決するための規則である第 14 条と 15 条の中の「直ちに」を列挙し整理しておきましょう。

	Law 14 Ball on the Ground - No Tackle	第 14 条地上にあるボール
	PLAYER ON THE GROUND	地上に横たわっているプレーヤー
14.1	The player must immediately do one of three things: Get up with the ball, or Pass the ball, or Release the ball. A player who passes or releases the ball must also get up or move away from it at once . Advantage is played only if it happens immediately . Penalty: Penalty Kick	地上に横たわっているプレーヤーは次の 3 つのうち 1 つを 直ちに に行わなければならない。 ・ ボールを持って立ちあがる、または ・ ボールをパスする、または ・ ボールを手放す。 さらに、ボールをパスしたり手放したプレーヤーは、 すぐに 立ちあがるか、ボールから離れなければならない。レフリーは、 直ちに に利益が得られた場合に限りアドバンテージを適用し、そうでなければ罰を科さなければならない。 罰：ペナルティキック

	Law 15 Tackle: Ball carrier Brought to the Ground	第 15 条タックル
	THE TACKLER	タックラー
15.4	(a) When a player tackles an opponent and they both go to ground, the tackler must immediately release the tackled player. Penalty: Penalty Kick (b) The tackler must immediately get up or move away from the tackled player and from the ball at once . Penalty: Penalty Kick	プレーヤーが相手側プレーヤーをタックルして双方が地面に倒れたとき、タックラーは 直ちに にタックルされたプレーヤーを離さなければならない。 罰：ペナルティキック さらにタックラーは 直ちに に立ち上がるか、タックルされたプレーヤーとボールから 直ちに に離れなければならない。 罰：ペナルティキック
	THE TACKLED PLAYER	タックルされたプレーヤー
15.5	(a) A tackled player must not lie on, over, or near the ball to prevent opponents from gaining possession of it, and must try to make the ball available immediately so that play can continue. Penalty: Penalty Kick (b) A tackled player must immediately pass the ball or release it. That player must also get up or move away from it at once . Penalty: Penalty Kick (c) A tackled player may release the ball by putting it on the ground in any direction, provided this is done immediately . Penalty: Penalty Kick (d) A tackled player may release the ball by pushing it along the ground in any direction except forward, provided this is done immediately . Penalty: Penalty Kick (g) If players are tackled near the goal line, these players may immediately reach out and ground the ball on or over the goal line to score a try or make a touch down.	タックルされたプレーヤーは、ボールの上に、ボールをおおって、またはボールに近接して横たわって、相手側がボールを獲得するのを妨げてはならないし、プレーの継続のため、 直ちに にボールをプレーできるようにしなければならない。 罰：ペナルティキック タックルされたプレーヤーは 直ちに にボールをパスするか、ボールを手放さなければならない。さらにそのプレーヤーは 直ちに に立ち上がるか、ボールから離れなければならない。 罰：ペナルティキック タックルされたプレーヤーはボールをいずれかの方向に置くことによってボールを手放すことができる。ただし動作は 直ちに に行わなければならない。 罰：ペナルティキック タックルされたプレーヤーは地面上でいずれかの方向にボールを押し進めること（前方にはなく）によってボールを手放すことができる。ただし動作は 直ちに に行わなければならない。 罰：ペナルティキック プレーヤーがゴールライン付近でタックルされた場合、これらのプレーヤーは 直ちに に手を伸ばしボールをゴールライン上またはゴールラインを越えてグラウンディングし、トライまたはタッチダウンすることができる。
	OTHER PLAYERS	その他のプレーヤー
15.6	(d) Any player who gains possession of the ball at the tackle must play the ball immediately by moving away or passing or kicking the ball. Penalty: Penalty Kick	ボールを獲得したプレーヤーは、タックルの地点から離れるか、パス、あるいはキックして、 直ちに にボールをプレーしなければならない。 罰：ペナルティキック
	FORBIDDEN PRACTICES	行ってはならないプレー
15.7	(f) Danger may arise if a tackled player fails to release the ball or move away from it immediately, or if that player is prevented from so doing. If either of these happens the referee awards a penalty kick immediately. Penalty: Penalty Kick	危険性（ボールをパスするか、手放さない場合）：タックルされたプレーヤーが直ちにボールを手放さないか、もしくはボールから離れようとしないうちに、またはこのようにすることを妨げられた場合には危険が予想できる。このような場合、レフリーは 直ちに に罰を科さなければならない。 罰：ペナルティキック
	DOUBT ABOUT FAILURE TO COMPLY	どちら側の責任が疑わしい場合
15.8	If the ball becomes unplayable at a tackle and there is doubt about which player did not conform to Law, the referee orders a scrum immediately with the throw in by the team that was moving forward prior to the stoppage or, if no team was moving forward, by the attacking team.	タックルで、ボールがアンプレイブルになり、どちらの側が競技規則に従わなかったのか疑わしい場合、レフリーは 直ちに にスクラムを命じ、停止の前に前進していた側がボールを入れる。どちらも前進していなかった場合は攻撃側がボールを入れる。

Immediately にはこれ以外一切何もしないでこのことを遂行しなさいという強い意志のもとに指示されているのです。直ちにイコールすぐにといった簡単な内容の言葉ではないのです。時間的に直ちにであればよいと適当に解釈して自分（自チーム）に都合のよい判断でプレーするものですから混乱し停滞がおこるのです。

上記以外の重要な条文もあります。

Law 8 Advantage		第8条アドバンテージ
	DEFINITIONS The Law of advantage takes precedence over most other Laws and its purpose is to make play more continuous with fewer stoppages for infringements. Players are encouraged to play to the whistle despite infringements by their opponents. When the result of an infringement by one team is that their opposing team may gain an advantage, the referee does not whistle immediately for the infringement.	定義 アドバンテージの規則は、他の大部分の規則に優先し、その目的は、反則による競技停止を少なくしプレーの継続を一層計ることにある。プレーヤーは相手に反則があっても、レフリーの笛に従ってプレーすることが求められる。レフリーは、競技中に反則があっても、その結果相手側が利益（アドバンテージ）を得る可能性のある場合には、その反則に対して 直ち には笛を吹かない。
	WHEN THE ADVANTAGE LAW IS NOT APPLIED	アドバンテージが適用されない場合
8.3	(d) Collapsed scrum. Advantage must not be applied when a scrum collapses. The referee must blow the whistle immediately .	スクラムのくずれ：スクラムがくずれた場合には、アドバンテージを適用してはならない。レフリーは 直ち に笛を吹かなければならない。
	(e) Player lifted in the air. Advantage must not be applied when a player in a scrum is lifted in the air or forced upwards out of the scrum. The referee must blow the whistle immediately .	宙に浮いたプレーヤー：スクラムで、プレーヤーが宙に浮く、または上方に押し出された場合には、アドバンテージを適用してはならない。レフリーは 直ち に笛を吹かなければならない。
	IMMEDIATE WHISTLE WHEN NO ADVANTAGE	アドバンテージが生じなかった場合の笛
8.4	The referee blows the whistle immediately once the referee decides an advantage cannot be gained by the non-offending team.	レフリーは、反則しなかった側が利益を得る可能性がないと判断した場合には、 直ち に笛を吹かなければならない。

Law 21 Penalty and Free Kicks		第21条ペナルティキックおよびフリーキック
	PENALTY AND FREE KICK OPTIONS AND REQUIREMENTS	ペナルティキックおよびフリーキックにおける制限
21.4	(i) Kick taken quickly. If the penalty or free kick is taken so quickly that players of the kicker's team are still in front of the ball, they are not penalised for being offside. However, they must retire immediately . They must not stop retiring until they are onside. They must not take part in the game until they are onside. This applies to all players of that team, whether they are inside or outside the playing area.	すばやくキック：キッカー側のプレーヤーは、キックがすばやく行われたためにボールの後方まで後退しきれなくても罰せられない。しかし、 直ち に後退し、オンサイドになるまで後退を続けなければならない。オンサイドになるまでは競技に参加してはならない。これは、競技区域の内外にいるにかかわらずすべてのプレーヤーに適用される
	WHAT THE OPPOSING TEAM MUST DO AT A PENALTY KICK	ペナルティキックで相手側のすべきこと
21.7	(a) Must run from the mark. The opposing team must immediately run towards their own goal line until they are at least 10 metres away from the mark for the penalty kick, or until they have reached their goal line if that is nearer the mark.	後退：相手側は 直ち に、 ・ マークから10メートル以上、または ・ 味方ゴールラインがマークから10メートル以内の時はゴールラインまで後退しなければならない。
	WHAT OPTIONS THE OPPOSING TEAM HAVE AT A FREE KICK	フリーキックで相手側のすべきこと
21.8	(a) Must run from the mark. The opposing team must immediately run towards their own goal line until they are at least 10 metres away from the mark for the free kick, or until they have reached their goal line if that is nearer the mark. If the free kick is in a defending team's in-goal area, the opposing team must immediately run towards their own goal line until they are at least 10 metres away from the mark and not nearer than 5 metres from the goal line.	後退：相手側は 直ち に ・ マークから10メートル以上、または ・ 味方ゴールラインがマークから10メートル以内のときはゴールラインまで後退しなければならない。 フリーキックが防御側のインゴールで行われる場合は、マークから10メートル以上後方、且つゴールラインから5メートル以上離れた地点にいなければならない。
	Law 22 In-Goal	第22条インゴール
	OTHER WAYS TO SCORE A TRY	その他のトライの方法
22.4	(e) Tackled near the goal line. If a player is tackled near to the opponents' goal line so that this player can immediately reach out and ground the ball on or over the goal line, a try is scored.	ゴールライン近辺でタックルされた場合：ボールキャリアーがゴールライン近くでタックルされた後、 直ち に手を伸ばしゴールライン上もしくは越えてグラウンディングした場合、トライが得られる。

2008. 12. 05
西川 義行